

1 主題構成表

主題名 「生き物に優しく」(小学校・低学年)

資料名 「ありとあぶらむしーなわ やすし」

| | | |
|--|---|--|
| <p>■ 内容項目 3-(2) 身近な自然に親しみ、動植物に優しい心で接する。</p> | <p>■ 内容項目から見た児童の実態 (意識) ・学級では、生き物の世話をする係に人気が集まり、教室で飼育している金魚が餌を食べる様子に興味・関心をもつなど、身近な生き物と関わろうとする意識は高い。 ・きれいな花が咲いていると、摘み取って、自分のものにしたくなる。 ・動植物の世話をしたいと思いつつも、自分が他に遊びたいから、いい加減に済ませようとする思いがある。 (要因) ・これまでに生き物を育てた経験が少なく、命あるものを大切にする事の難しさについて考える機会が乏しい。 ・生き物を育てたり、遊んだりするなどして触れ合う中で喜びが得られることへの気付きが弱い。</p> | <p>■ 資料の分析 ・主人公のやすしは、おじいさんが大事にしているばらに元気がないことが気になり、ばらの株に付いたあぶらむしとありの様子を注意深く観察するようになる。 ・やがて、あぶらむしがばらの汁を吸うことやありがあぶらむしから蜜をもらい、お返しに引越しを手伝っていることなどを明らかにする。 ・やすしの何気ない動植物の様子から、疑問に思ったことを調べたり、観察したりしたことを取り上げ、興味・関心をもってその解決に取り組むことの素晴らしさに気付かせる。 ・昆虫が互いに仲良くしながら生きていることや、そうした生き物のことが大好きになるやすしに共感することを通して、身近な動植物と触れ合い、親しみ、優しい心で接しようとする心情を育てる。</p> |
| <p>■ ねらい 身のまわりの動植物に興味・関心をもって調べたり、触れ合ったりすることで、不思議さやおもしろさに気付き、生き物には優しく接し、大切に育てようとする心情を育てる。</p> | | |
| <p>■ 展開の構想 ・身のまわりの動植物に興味・関心を持ち、見つけた疑問を解決しようと観察するやすしのひたむきさに共感させる。 ・あぶらむしとありが互いに仲良くしている様子の不思議さやおもしろさに触れたことで、更に探究しようとする意欲が喚起されたことに気付かせる。 ・あぶらむしとあり以外の昆虫についても調べたことで、知らなかったことが分かるようになり、今まで以上に昆虫のことが好きになっていったことに気付かせる。 ・普段、子どもたちが動植物を大切にしている様子を取り上げ、価値付ける。</p> | <p>■ 基本発問 (◎中心発問) ○学校から帰ってきたやすしは、どんな気持ちで、ばらの側に座り込んでいたのでしょうか。 ◎やすしが、仲良く生きているあぶらむしやありのことをますます好きになったのはどうしてでしょうか。やすしになってつぶやいてみましょう。 ○やすしは、いろいろな昆虫についても観察を続けながら、どんな気持ちでいたのでしょうか。 ○これまで皆さんは、どんなことに気を付けて、生き物のお世話をしたり、一緒に遊んだりしてきましたか。</p> | |
| <p>■ 「わたしたちの道徳」の活用 (授業前 ・ 授業中 ・ 授業後 ・ 活用しない) (活用の仕方) 「生きものにやさしく」(P.102)に、生き物をどのような気持ちで育てたかを記入させておく。</p> | | |

